

兵庫県

北播磨

1. 三木市
2. 小野市
3. 加西市
4. 加東市
5. 西脇市
6. 多可町
7. 吉川町

西播磨

1. 大河内町
2. 御津町
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.

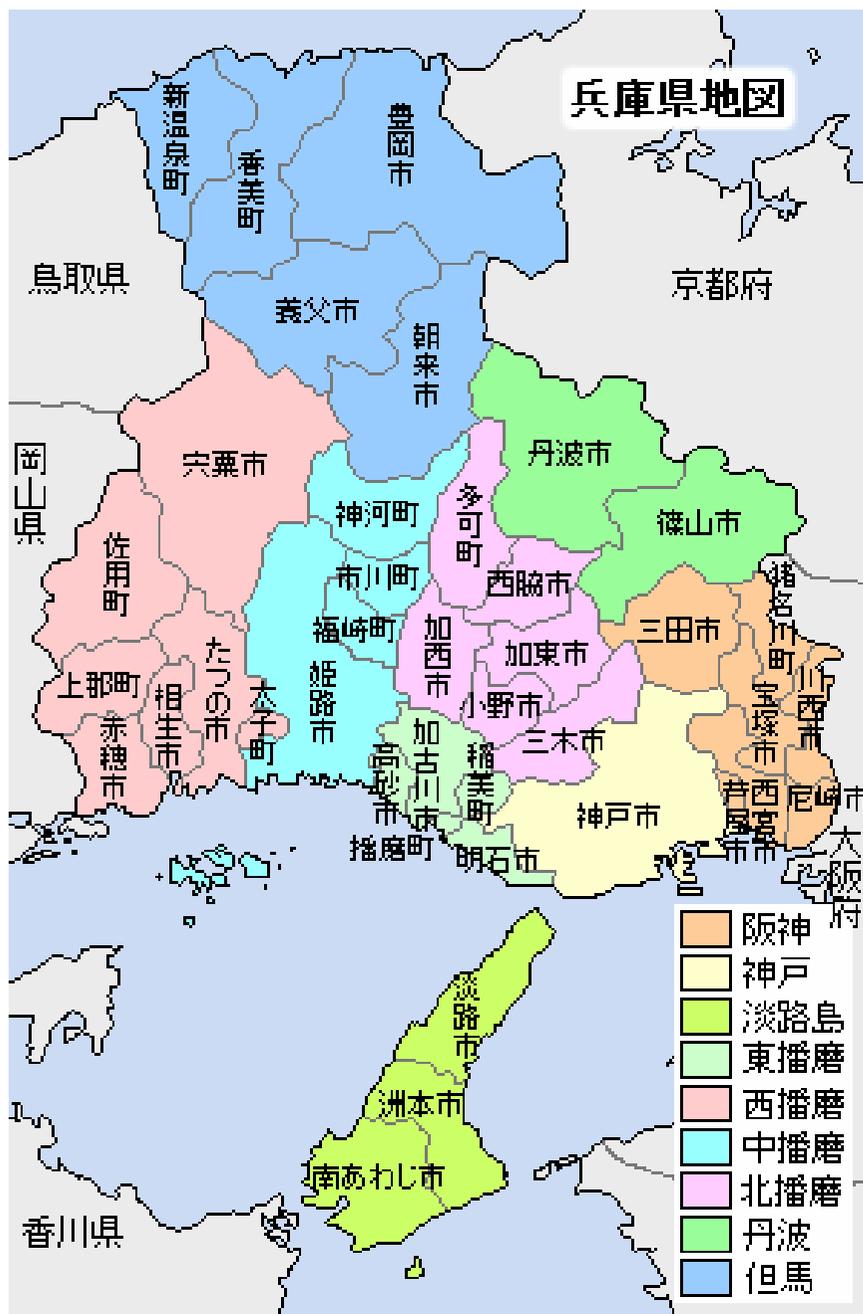
東播磨

1. 加古川市
2. 明石市
3. 高砂市
4. 播磨町
5. 稲美町
- 6.

兵庫県 シンボル



はばタン



西播磨 御津町



綾部山梅林





世界梅公園



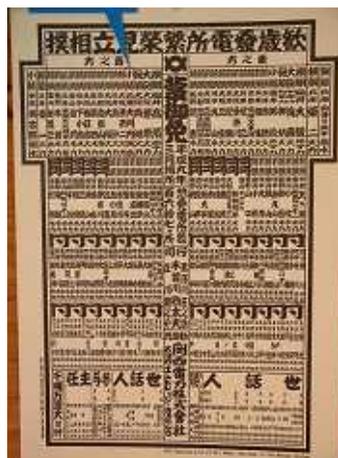




西播磨 大河内町

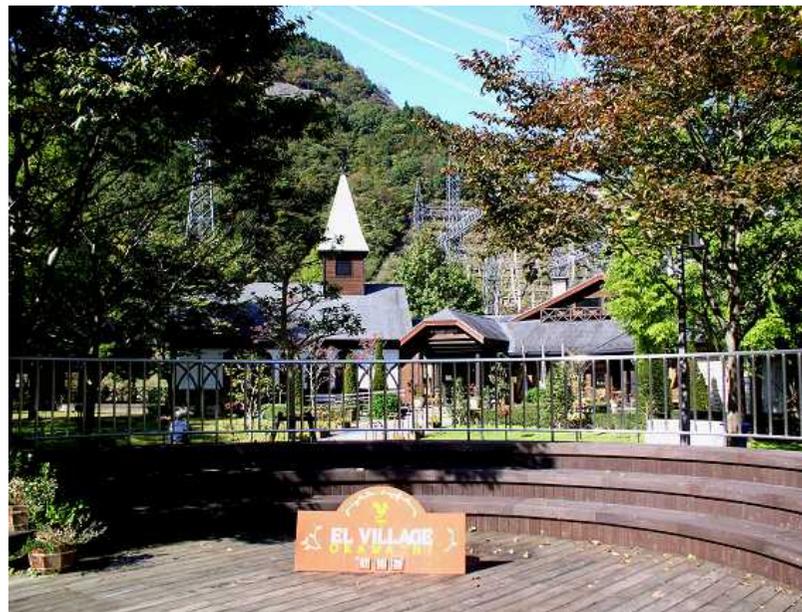
OKAWACHI 大河内発電所見学記念
2007.10.28

エルビレッジ大河内





エルビレッジ大河内



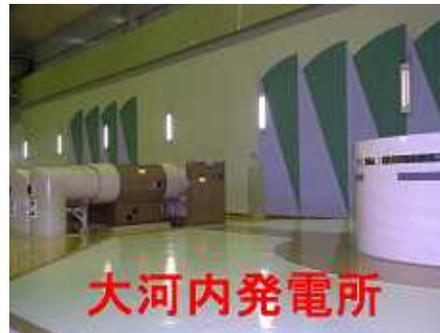


砥峰高原 案内図

- 砥峰高原は、氷河期に氷河が動いて形作られた高原で、富山県立自然公園のなかでも、特に優れた自然景観が採られていることから、第2種特別地域に指定されています。
- 高原の中央部には、西日本でもまれなすすきの大草原が広がり、その広さは約90ヘクタールにもなります。
- 明治時代には軍馬の放牧地とされましたが、一度も採られることなく、馬が退けられないように作られた土塁だけが、すすき草原の外周に残っています。
- この土塁は、草原で山焼きを行うときに、火が森林に燃え広がらないようにする防火帯の役目も果たしています。
- 山焼きの他には、わらびやぜんまいなどの山菜が豊を吹き、草原の低いところに広がる温泉では、珍しい高瀬温泉を見ることができます。
- 春には可憐な花々が咲き盛り、夏には緑におおわれた草原を涼しい風が流れ、秋には銀色のすすきの穂が一面に波打ち、冬には一面の雪化粧に彩られる砥峰高原は、私たちの大切な財産です。



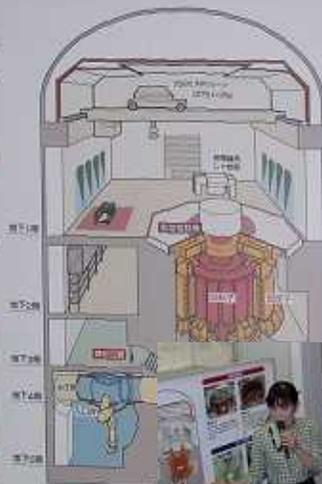
砥の峰高原





ようこそ大河内発電所へ！
揚水発電設備のあらまし

揚水発電の主な設備
ポンプ水車と発電電動機により構成されています。これらの設備が、上湖ダムから下湖ダムに落下する水の力を電気に変えたり、逆に水をくみ上げたりします。ここは地下3階で、この湖床から水車ピットに入れば、発電電動機とポンプ水車をつなぐ回転軸が見えます。



発電電動機



●**回転子**
鋼製の20トンの回転する部品が回転し、片極・片極の磁石が交互に並んでいます。回転軸を通してランプを回転させます。

●**固定子**
回転子を囲む鉄心の巻かれたコイルです。回転子との磁束で、水の落下時に巨大な電流を生じる発電機として、水をくみ上げ時に電力を消費する電動機として、ランパを動かす電動機として働きます。

ポンプ水車



●**入口弁**
発電機室とポンプ水車室を結ぶ水の出入りに使われる。海軍航空機用のエンジンの部品で、直径は約700mm、長さ約10m、重さは約100tとされています。

●**吐出弁**
ポンプ水車の吐出弁は、ラジコンのエンジンの吐出弁と同じ構造で、約400mmの直径、長さ約10m、重さは約100tとされています。

